

九州歴史資料館	行事・事業予定
展 示	移転開館準備に伴い、4月1日(木)～11月20日(土)までの期間、臨時閉館します。
講 演	館長講座：全12回の連続講座(申込みは往復ハガキで、小郡市埋蔵文化財調査センターに3月31日必着) 九歴講座：移転開館後に再開します。
発掘調査	大宰府跡蔵司地区 4月～9月 政庁域周辺官衙跡(五反田地区) 首羅山遺跡(本谷基壇部)
求 善 提 資 料 館	常設展示：「求菩提山修験道の世界」 企画展示：4月20日(火)～5月30日(日)「岳野博昭 木芸展」 夏のミニ企画展：企画中 史跡ガイド活動：(申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします) 〒828-0085 豊前市鳥井畑247 TEL・FAX 0979-88-3203 http://www9.ocn.ne.jp/~kubote/
甘 木 歴 史 資 料 館	常設展示：「朝倉の歴史と民俗資料」 特別企画：6月8日(火)～6月27日(日)「発見：上座郡衙跡展」 特別企画講演会：6月19日(土)13:30～15:00「福岡県内の郡衙について(仮題)」 第49回企画展：平成22年10月19日(火)～11月21日(日)「朝倉のキリシタンを探る(仮題)」 〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL・FAX 0946-22-7515 http://www.city.asakura.lg.jp/ama-reki/
柳 川 古 文 書 館	常設展示：4月4日(日)まで「古文書解剖」、併設「柳川雛祭りさげもんめぐり・松井家のおひなさま」 4月6日(火)～6月27日(日)「柳川古文書館新収蔵品展」 7月～9月 常設展示 古文書解読講座：毎月第4日曜日 入門・初級・応用の3コース(※受講者募集は3月20日締切) 〒832-0021 柳川市隅町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559 http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/rekishi/kobun/

※九州歴史資料館の行事についてはホームページにて随時最新情報を提供しています。  
※各館の行事の詳細については直接お問い合わせください。

## 大宰府周辺の史跡「四王寺山」

大宰府政庁跡の後ろにある「四王寺山」の山中には、「大野城」や「岩屋城」などの史跡が数多く眠っています。「大野城」は大宰府の防衛を担う古代山城で、「岩屋城」は島津軍の猛攻に耐え、落城した全国的にも有名な中世山城です。このように「四王寺山」は、歴史の転換点で度々登場します。しかし、近年の豪雨災害は、「四王寺山」の史跡に大きな爪跡を残しました。とくに「大野城」の被害は甚大で、多くの場所で土塁や石垣が崩壊しました。現在、早急な史跡の整備復旧を目指し、「大野城」の修復に尽力しています。九州歴史資料館は、これからも大宰府史跡の整備・保存・活用に取り組んでいきます。

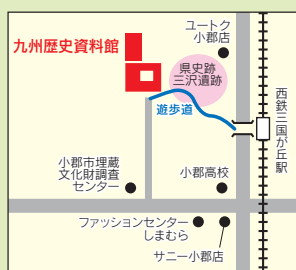


## 九州歴史資料館

〒838-0106 福岡県小郡市三沢5208-3  
開館時間 午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)  
入館料 一般200円 高大生150円 小中生 無料  
休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始(12月28日～1月4日)

- 公共交通機関  
《西鉄電車》…西鉄天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約10分(三沢遺跡内遊歩道経由)  
西鉄三国が丘駅までの交通  
・西鉄福岡天神駅から急行で約22分の筑紫駅乗り換えで普通約4分  
・西鉄久留米駅から急行で約7分の小郡駅乗り換えで普通約6分  
《JR》…JR鹿児島本線原田駅からタクシーで約5分  
JR原田駅までの交通  
・JR博多駅から快速で約26分、JR久留米駅から快速で約15分

- 自動車  
《九州自動車道》…筑紫野ICから鳥栖筑紫野道路経由で約15分  
《大分自動車道》…筑後小郡ICから国道500号線・県道88号線経由で約15分  
《福岡都市高速》…水城出口から国道3号線経由で約25分



九歴だより 平成二十二年四月(第三十一号)



平成22年 11月21日(日)

# (小郡移転) 九州歴史資料館 開館

Kyushu Historical Museum

## 九州歴史資料館の移転・開館に向けて

九州歴史資料館は、去る昭和47年(1972)に設置され、翌48年に展示室がオープンして以来40年近い間、福岡県民はもとより国内・外の皆さまからも親しまれてきました。しかし、いよいよこの3月末日をもって展示室を閉鎖し、小郡市への移転を控えて4月1日から引越し準備に入ります。

当館は、設置以来現在まで、日本古代の歴史的・文化的発展に重要な役割を果たした大宰府史跡を擁するところから、その発掘調査と研究に大きな成果を上げて来ました。また、県内に所在する美術工芸品・古文書・考古資料等の調査・研究と収集・保管を行って参りました。併せて、それらの成果を展示・公開するとともに、各種の講座や刊行物さらには体験学習等

々を通じて、文化財保護思想の啓蒙・普及にも努めてきました。

新しく生まれ変わる九州歴史資料館では、大宰府史跡の発掘調査と研究等これまでの諸活動を引き続き行う一方、本県文化財保護行政の拠点施設として、さらなる発展を目指しています。つまり、九州全体を視野に入れた博物館機能と本県の文化財センター的機能を併せ持つ施設として幅広い活動を行うことになっています。

今年11月21日の一般公開に向けて、皆さまのご期待にそうべく、関係者が一丸となって開館準備に努力しています。皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

九州歴史資料館長 西谷 正

編集・発行 九州歴史資料館 印刷 (株)西日本新聞印刷



# 38年間お世話になりました。

## 現九州歴史資料館データ

敷地面積	10,669㎡
建物	鉄筋コンクリート造、正五角形 (地下1階、地上3階、 床面積1,077.49㎡、 延面積4,500㎡)
工期	昭和46年3月1日着工 昭和47年3月31日竣工 昭和48年2月開館
建設費	3億7千万円

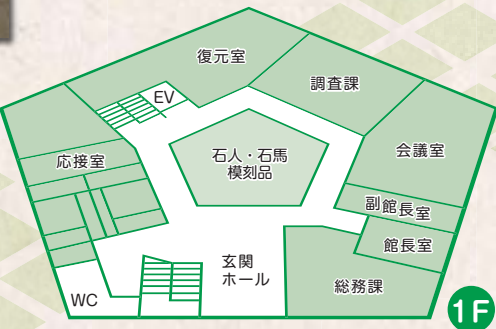


現在の九州歴史資料館

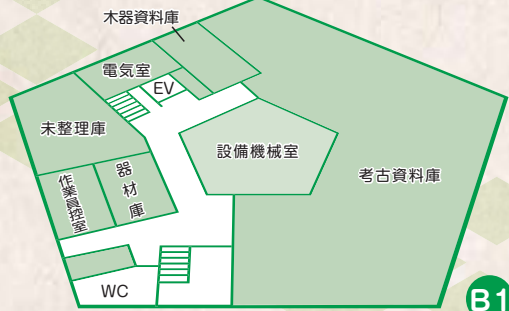


開館時の九州歴史資料館(昭和48年)

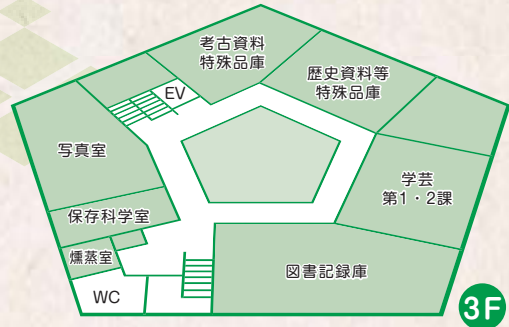
開館日数	10,996日(平成22年3月31日まで)
入館者数	1,627,000人
1日平均入館者数	147.7人
職員数	現15名、延職員数118名
刊行書籍	221冊
収蔵資料数	寄贈資料等 考古資料10,988点 出土資料約2万箱 歴史資料292点
収蔵図書数	購入3,700冊 寄贈72,000冊



1F

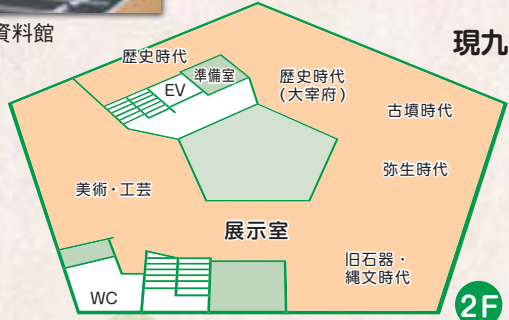


B1



3F

## 現九州歴史資料館見取り図 (平成16年)



2F



展示室(昭和51年)



復元室をこげ覧になる皇太子ご夫妻、現天皇、皇后陛下と鏡山猛初代館長

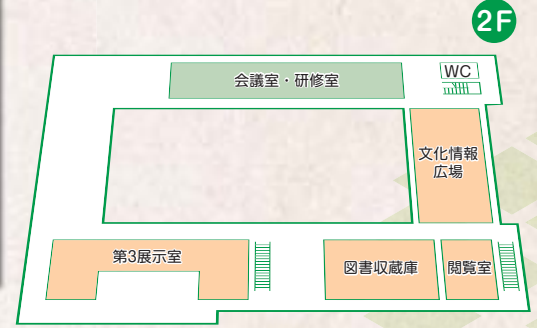
# 平成22年11月21日(日)、九州歴史資料館が生まれ変わります。

## 新九州歴史資料館データ

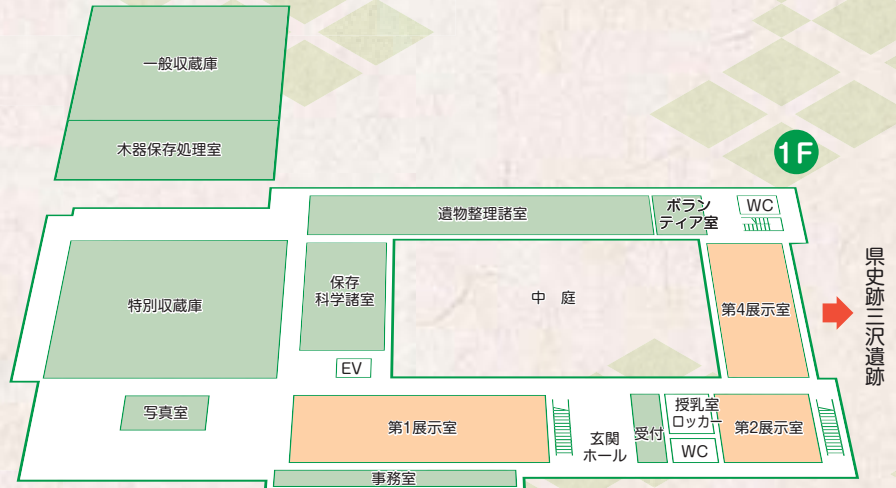
敷地面積	34,737㎡
建物	本館:鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建、一般収蔵庫:鉄骨造2階建、総延床面積約9,000㎡
施設概要	本館:展示室1~4、特別収蔵庫、遺物整理諸室、保存科学諸室などを配置。敷地横には県指定史跡三沢遺跡(弥生時代の集落跡)があり、多くの緑が残る自然豊かな場所に位置しています。建物は伝統的な日本建築の雰囲気を持つ外観で、周囲の環境と調和した雰囲気をかもしだしています。
建設費	約36億円(本館・一般収蔵庫)



九州歴史資料館全景



2F



1F

県史跡三沢遺跡



第1展示室イメージ図



第4展示室(床下展示)

## 新九州歴史資料館見取り図

### 九州歴史資料館ボランティア募集

九州歴史資料館での博物館活動をサポートしていただけるボランティアを募集します。

**活動内容** …… 館内案内および体験学習プログラムの指導、イベント等の運営支援など

**応募条件** …… ①満18歳以上 ②博物館の教育普及活動に興味・関心をお持ちの方 ③土・日を中心に月3回以上活動できる方。

**募集人数** …… 40名

**応募期間** …… 平成22年4月1日(木)~30日(金)必着

**募集要項** …… 当館ホームページ(<http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki>)でダウンロードおよび(現)九州歴史資料館(太宰府市石坂4-7-1)で配布。

### 九歴のあゆみ

昭和45年8月	九州歴史資料館建設用地取得
昭和46年3月	建設工事着手
昭和47年3月	建設工事竣工 (床面積1,077㎡ 延面積4,500㎡ 建築費3億7千万円)
昭和47年4月	福岡県公の施設及び管理に関する条例に基づき九州歴史資料館設置
昭和47年5月	九州歴史資料館組織規則制定、副館長以下19名発令
昭和47年5月	鏡山猛、初代館長に就任
昭和48年2月24日	九州歴史資料館開館(展示室一般公開開始)
昭和49年8月	求善提資料館開館
昭和49年8月	今上天皇陛下・皇后陛下来館
昭和53年10月	大宰府史跡発掘調査10周年記念特別展「大宰府展」開催
昭和56年4月	田村圓澄、第二代館長に就任
昭和59年2月	開館10周年記念特別展「国宝観世音寺鐘 妙心寺鐘とその時代」、記念シンポジウム、大宰府アカデミー等開催
昭和60年5月	分館として甘木歴史資料館開館
昭和60年10月	分館として柳川古文書館開館
昭和63年9月	大宰府史跡発掘調査20周年記念特別展「発掘が語る遠の朝廷―大宰府」(東京会場・明治大学考古学博物館、福岡会場・九歴)、記念シンポジウム等開催
平成元年7月	皇太子陛下来館
平成2年9月	とびうめ国体スポーツ芸術競技として特別展「古代の福岡」開催
平成4年4月	吉久勝美、第三代館長に就任
平成5年10月	開館20周年記念特別展「日本の鬼瓦」開催
平成8年4月	高橋良平、第四代館長に就任
平成9年6月	福岡県教育委員会教育長 光安常喜、九州歴史資料館長(第五代)に兼務発令
平成10年10月	大宰府史跡発掘調査30周年記念特別展「大宰府復元」、記念講演会等開催
平成14年4月	福岡県教育委員会教育長 森山良一、九州歴史資料館長(第六代)に兼務発令
平成15年1月	開館30周年記念企画展「大宰府へ、ころが動き、ものが動く」開催
平成15年8月	特別展「大宰府へ、ひとが動き、ものが動く」開催
平成16年4月	特別展「大宰府へ、くが動き、ものが動く」開催
平成18年11月	特別展「観世音寺展」(九歴・観世音寺の二会場で開催)、記念シンポジウム開催
平成20年4月	西谷 正、第七代館長に就任
平成20年10月	大宰府史跡発掘調査40周年記念事業(記念シンポジウム、企画展示等)開催
平成22年4月1日 11月20日	移転開館準備のため臨時休館
平成22年6月	開館

### 新九歴のあゆみ

平成15年2月	九州歴史資料館将来構想検討委員会設置
平成16年10月	「九州歴史資料館の将来構想について」最終報告
平成17年2月	福岡県議会文教委員会に移転先を小郡簡保レクセンター跡地とすることを表明
平成17年4月	文化財保護課に新九歴対策班設置
平成17年6月	九州歴史資料館基本計画策定
平成17年10月	新九州歴史資料館基本設計業務を久米設計ほか共同企業体に発注
平成18年9月	新九州歴史資料館実施設計業務を久米設計ほか共同企業体に発注
平成20年3月	西松建設ほか共同企業体に建築工事を発注、同年4月着工
平成20年7月	展示教育普及及工事設計を(株)トータルメディア開発研究所に発注
平成21年7月	本館棟竣工、秋から展示教育普及及工事、植栽工事、三沢遺跡内遊歩道整備
平成22年7月	九州歴史資料館条例の一部改正に基づき小郡市に移転設置
平成22年11月21日	九州歴史資料館移転開館(一般公開開始)